

中央公民館からのお知らせ

グループ登録団体 募集中!!

登録期間

令和8年4月1日から

令和10年3月31日まで

中央公民館を主な活動場所とするグループ登録団体が社会教育活動（学習・文化）を行うときは、無料で中央公民館を使用することができます。

なお、登録は次の条件を満たす団体が対象となります。

- ・会員が、町民もしくは町内勤務者で、6名以上（不特定多数は不可）
- ・営利事業ではない（塾も不可）（講師が代表でないこと）
- ・特定の政党・宗教団体に偏らない



町ホームページ
中央公民館グループ
登録団体について

詳しくは、町ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

中央公民館主催講座のアンケート調査

中央公民館では、毎年定期的に教養講座を開設していますが、参加しやすい講座や、参加したくなる講座の開設に向け、アンケート調査を行うことにしました。講座開設に向けた参考にしますので、たくさんの回答をお願いします。

アンケートには、二次元コードからご回答ください。



講座開催についての
アンケート

【申し込み・問い合わせ】 中央公民館 ☎45-8446

私が関わっているケースの中には、保育園の年中の頃から相談がはじまり、成人（18）になってからも相談を継続しているケースもあります。こういったケースが多いわけではありませんが、中学・高校を卒業し社会に向かっていくとなると、当然ながら、私たちスクールサポーターの心理職という専門性だけでは、十分ではないことが多く出てきます。

長い付き合い



スクールサポーター
(臨床心理士・公認心理師)
小林 真理

「こころのぼ」
こころのボランティア

ケースでは、本人の希望によりちゃんと自分で勤めるために、就労支援という福祉サービスを使いながら、本人なりのペースで働くことから練習を始めています。そこには就労支援施設の職員の方、相談支援員さん、本人が相談できる同性の方、サポーターマネージャー、福祉課など様々な方が関わっています。ある支援会議の時に施設の方が「これだけしつかりチームが組んでいるケースはなかなかないですよ」と感じしている様子がありました。本人が何を困っているか、どうしたいかをちゃんと話してくれるので、それに対応しようとして我々も動くことができるのです。

早期発見、早期対応という事は広く言われていますが、それを継続していくことが本来の本人の生活を支援していくことになっていくのです。困ったときに困ったと言えるようにすること、こうしたいけどどうしたらいいかということ、相談できるスキルをつけること、また相談できる場所や人などの環境をサポートしていくことも、小さい頃から関わることのできるスクールサポーターの仕事の一つだといえます。「もう義務教育を卒業しているのだから、その人たちにないでいいじゃないか」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、「チームの一員」として、その子どもがヘルプを出しやすい状況なのだとはいえます。

すべてのケースが、このケースのようにうまくいっているわけではありませんが、1人でも多くの子どもたちが自分らしく生きていけるようにチームを作ってサポーターをしていく体制がある、ということを知っていただき、必要ときには相談をしていく、使えるものは何でも使えるという強さがあるのもいいかもしれませんね。

（このケースに関しては、本人・保護者の了承を得て掲載しています。）



過去の「こころのぼ」は町ホームページからご覧になれます。